

# 医薬品副作用・感染症症例票

識別番号 C99-19981	2000年3月31日	登録番号 C99-9683	2000年2月25日	情報入手日 2000年1月18日	同一症例番号	年月日	死・感・重未・先・患・改・OTC (厚生労働省処理欄)
区分 患者略名 N. I.	28 歳 女性	15日 入院・外来 外来	妊娠: 無	職業: 商店主	医薬品副作用歴: 有	主な既往歴・患者の体質等: 有	
販売名 (企業名)	一般名	S・O	経路	使用量	開始	終了	使用理由 原疾患には下線 合併症には( )
シメントレル (日本チバガイギー)	塩酸アマンタジン	S	P0	50mg	1999/12/18	1999/12/21	
デプロメール (明治製菓)	マレイン酸フルボキサミン	S	P0	100mg	1999/11/9	1999/12/31	
メイラックス (明治製菓)	ロフラゼパ酸エチル	O	P0	2mg	1999/10/22	1999/12/31	
ユーロジン (武田薬品)	エスタゾラム	O	P0	2mg	1999/10/22	1999/12/31	
セルシン (武田薬品)	ジアゼパム	O	P0	2mg	1999/11/29	1999/12/31	
レンドルミン (日本ベーリンガー)	プロチゾラム	O	P0	0.5g	1999/10/22	1999/12/31	
副作用・ 感染症名	年月日	副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過 性格障害、不眠、自律神経失調症等のため以前から通院しデプロメール、メイラックス、ユーロジン、セルシン投与中。精神病院にも入院歴有り。自殺未遂も何度か起こしている。 アスピリン50mgを120錠内服し救急搬送された。 退院後本院でFollow-upを希望し 再来院開始。 わがままで気性激しく、性格障害が強いことは精神科主治医より指摘されていた。 前日より40℃の発熱有り、来院。 22:20 シメントレル投与(4回目)後電話があり「カウンセリングを受けることになっていますが、何のことかわかりません。私はN. I.では有りません。あんなやつは殺しました。」といい、母親に電話をかわつてもらったので、元の精神科の主治医の所に「多重人格障害が発現しているのではありません」とムンテラを行ったが、行かなかった。 09:00 母親と来院。強引に診察室に入ろうとするのを押しとどめた。以前より狂暴化していたが、人格はN. I.に戻っていた。 その後、話し合いにより、前の主治医に戻すことになり転院。 転院。精神科主治医よりデプロメールとシメントレルの因果関係を指摘されたため報告とした。					
再投与: 不明	再投与: 不明	転帰: 不明 (1999年12月31日)					
その他の治療: (その他(有り))							